



# 洞窟の魅力発掘

## 模型・溶岩など展示

長年にわたって洞窟の研究を続けている大阪経済法科大学名誉教授の沢勲さん(71)＝大阪市西淀川区野里＝が、2年がかりで取り組んできた「洞窟ハウス」が完成、「洞窟情報サロン」として希望者への公開を行っている。洞窟や火山のさまざまな模型を展示し、子供たちだけでなく大人も対象に、地球の魅力をわかりやすく紹介している。

同時に洞窟の環境に関する問題を広く知ってもらおうと、NPO法人「洞窟環境NET学会」も設立、今後広く情報発信していくという。沢さんは関西大学工学部卒。半導体工学が専門だが、半導体を使うシリコンの主成分であるケイ素の研究を進める過程で溶岩の成分としてのケイ酸に着目。各地の溶岩を収集しているうちに溶岩洞窟に魅せ



さまざまな噴火モデルをあらわした模型が並ぶ洞窟情報サロン＝大阪市西淀川区野里(藤浦淳撮影)

## 大阪経法大 名誉教授・沢さん 「子供の好奇心刺激」

られ、洞窟の研究を始めた。これまで世界各地の洞窟を調査。韓国・济州島では世界でも数例しか知られていない貴重な溶岩洞窟を発見するなど功績をあげており、経法大で今も洞窟学などの講座を開講している。

洞窟ハウスは、溶岩や石灰岩の洞窟(鍾乳洞)、火山の成因や仕組みをわかりやすく紹介するために、沢さんが元の自宅を改装。洞窟の地下水系を再現した水路やさまざまな種類の鍾乳石の模型などのほか、世界各地の溶岩の標本など約1000点を展示している。

また岩石が地殻の動きとともに地下にもぐってマグマ化し、火山を形成して地表に戻る循環をわかりやすく模式化した立体モデルなども手作りした。沢さんは「洞窟学の拠点として活用するとともに、特に子供たちの好奇心を刺激して、洞窟や火山のファン、地球ファンを育てたい」と話している。

洞窟ハウス見学の申し込みと問い合わせはEメール(sawaisao@nifty.com)かFAX(06・6471・9980)。